

第33回全国クラブチームサッカー選手権埼玉県大会 大会要項

1. 名 称 第33回全国クラブチームサッカー選手権埼玉県大会
2. 主 催 (公財) 埼玉県サッカー協会
3. 主 管 埼玉県社会人サッカー連盟
4. 協 賛 (株) モルテン
5. 開催期日 2026年3月1日(日)～2026年3月29日(日)
6. 競技会場 県内各地
7. 参加資格

東部・西部・南部・北部地区から、前年度の県3部リーグにおいて2位から5位までの成績を納めた各4チームが参加するものとする。ただし、各地区において了承された場合はこの限りではない。

(公財) 日本サッカー協会及び(一財) 全国社会人サッカー連盟に登録された第1種(準加盟を含む)のチームであり次の条件に従う。

- ①. 2025年度加盟登録手続きを完了し、会費納入済みであること。
 - ②. 参加チームは、Jリーグ・JFL・地域リーグ加盟チーム、自衛隊・自治体職員・大学・高専・専門学校の各連盟加盟チームは出場出来ない。
 - ③. 参加チームは、大学・高等専門学校・専門学校生の単独チームは認めない。但し、同一学校の選手が5名以内であれば認められる。
 - ④. エントリーは、(公財) 日本サッカー協会が登録を承認した選手30名以内に限る。
 - ⑤. 外国籍選手の登録は1チームにつき3名以内とする。但し、「JFAのプロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録できるものとするが、いずれの場合も外国籍選手の登録は5名を超えてはならない。(準加盟チームは除く)
- ※同一試合には3名が同時に出場することが出来る。
- ⑥. 参加選手に疑義のある場合は、あらかじめ所屬地域社会人サッカー連盟の意見を求める。なお疑いのある場合、関東社会人サッカー連盟常任理事会がこれを裁定する。
 - ⑦. (公財) 日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所屬するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所屬する選手の移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。但し、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることが出来る。第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。但し、2種登録選手は3名までエントリーを認め、3名が出場できる。
 - ⑧. 参加選手は他のチームと二重登録されていないこと。
 - ⑨. 予選から全国大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することは出来ない。
 - ⑩. 主催者は、参加者の負傷、疾病の応急処置以外、一切の責任を負わない。なお、参加者は健康保険証を持参しスポーツ傷害保険に加入していることが望ましい。

8. 試合規定

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については特に本大会用として大会規定を定める。

①. プレーの時間：70分（前・後半35分）

②. ハーフタイムのインターバル：10分（前半終了から後半開始まで）

③. 試合の勝者を決定する方法（70分で勝敗が決しない場合）：PK方式にて決定する。但し準決勝、決勝は20分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式にて決定する。

延長戦に入る前のインターバル：3分

PK方式に入る前のインターバル：1分

④. 交代できる数：7名以内（交代回数はハーフタイムを除き3回までとする）

⑤. 交代要員の数：7名

⑥. テクニカルエリア：設置する。

戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が伝えることができる。

⑦. ベンチに入ることができる人数：13名（交代要員7名、役員6名）

⑧. 主審は審判委員会より派遣とする。

副審は準々決勝まではチーム帯同、準決勝・決勝は審判委員会より派遣とする。

準決勝・決勝は第4の審判員を任命する。

⑨. アディショナルタイムの表示：実施する。

⑩. 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2名

⑪. 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができず、以後の処置については本大会フェアプレー・規律委員会で決定する。

⑫. 大会期間中警告が2回になった選手は次の1試合の出場を停止する。

⑬. 大会使用球：モルテン社製 検定球5号球 ヴァンタッジオ 4900

⑭. 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。

9. ユニフォームについて

埼玉県社会人サッカー連盟ユニフォーム規程による。

【関東大会-大会要項-競技会規定より抜粋】

a. 大会実施年度の本協会「ユニフォーム規定」に則る。

b. ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。

c. シャツの前面・背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。

ショーツの選手番号については付けることが望ましい。

d. ユニフォームの色・選手番号は、参加申込締切日以後の変更を認めない。

e. ユニフォームに他のチーム（各国代表、プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは、着用できない。

f. ユニフォームへの広告表示については日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場に依って広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。

g. ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいは、アンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はソックスの色と同系色に限る。

h. ユニフォームのシャツが縞（縦縞も横縞も）であって明確な識別が困難なときには、台地の（白布地等）（縦 30 c m × 横 30cm 位）に背番号を付けて判りやすくすること。

10. その他

【競技上の注意事項】

①. 試合開始 9 0 分前までに各チームは競技場へ到着し大会本部役員へ到着連絡をしてマネージャーズミーティング会場を確認して下さい。

②. チーム代表者はメンバー提出用紙を下記マネージャーズミーティング会場で大会本部役員へ提出をすること。

③. 試合開始 7 0 分前に、両チーム責任者、審判団及び運営責任者の出席によりマネージャーズミーティングを開催する。各チームの責任者は、フィールドプレーヤー及びゴールキーパーのユニフォーム（日本協会の「ユニフォーム規定」に基づいた参加申込書に記載した正副 2 組のユニフォーム一式（写真可））及び保護具（ヘッドギア、フェイスマスク、膝や腕のプロテクター等）を使用する場合は保護具を持参すること。

④. 試合開始 7 分前に、競技者は本部前に集合して審判員より用具の点検を受ける。靴や競技者の保護具その他が競技者自身あるいは他の競技者に危険を及ぼすと主審に判断された場合はその危険な物を取り除かなければ、その競技者は試合に参加することを認められない。

⑤. P K 方式が行われる場合は、競技者は監督の指示を受けるため、或いは飲水するため 1 分間程度自分のベンチ前へ行くことができるが、フィールドの外へ出る事は認められない。

今大会（埼玉県大会）において、脳震盪による追加は適用しない。